



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員連絡協議会(さくら会)

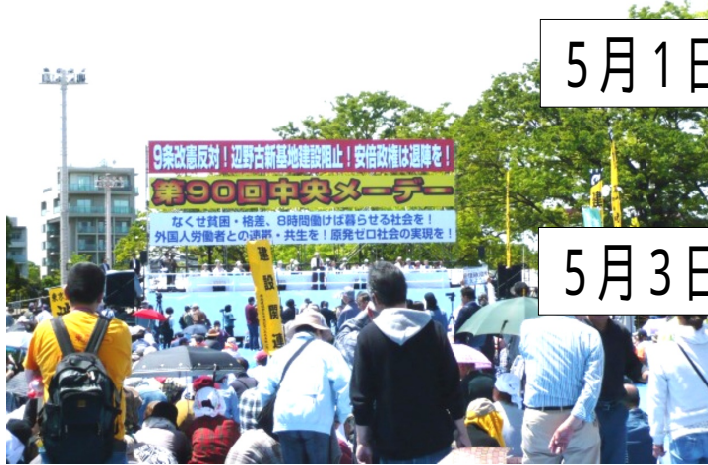
ホームページ: リニューアル中

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内

Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

5月1日 第90回 メーデー

左写真2枚
代々木公園で・・・



5月3日 憲法集会 有明公園

下の写真
撮影: 小杉 澄子さん



メーデー

今年のメーデーは、記念すべき90回となりました。前日までの雨も上がり、初夏の日差しがいつぱいでした。会場の代々木公園から青山コースを外苑前まで元気に行進しました。参加したのは杉退教の人が多かったです。現職の方は疲れちゃったのかなー？。

憲法集会

広い有明防災公園には「許すな改憲発動」の思いで6万5千人が集いました。会場があまりにも広いので、杉退教の仲間もそれぞれの場所での参加となりました。小杉さん・廣畑さん・八尾さん・濱谷さん・小林さん・黒澤さん・高木さん・前山さんと長子さん、……さん。懐かしい人にもたくさん会いました。

教育破壊の業績評価・人事考課

杉退教たより 160号(3月)に「だれのため?何のため?N中学校の学校だより」の記事を掲載しました。教員の実名を載せ、生徒による教員への評価を数値とグラフで表したものです。学校だよりですから当然生徒の手を通して全保護者に届けられます。さらにこれが区内全中学校にも配布されました。

これを見た教職員から問題点が指摘されたことは当然です。杉並支部もただちに区教委に対して要請を行いました。(支部ニュース1号)

今回、元中学校教員の矢内一弘さん(杉退教)からこの件について、また、働き方改革についての論評をいただきましたので掲載いたします。

1. 根底に業績評価

・人事考課制度が

学校だよりに授業評価を載せることの無意味さ、そして生徒に授業を評価させることの弊害を、都教委は何も考えていないのでしょうか。その背景には業績評価・人事考課という教育破壊があると思います。

うちの学校はこんなに優秀な教員ばかりですよ、ダメ教師など一人もいませんよ、と保護者や地域にアピールしなさいと言うのが都教委の方針でしょう。それに乗っかっているのが管理職による「学校だより」に授業評価を載せるというバカげたアピールです。こんな評価のグラフで何がわかるのでしょうか。まあ教員が頑張っていることを示そうという管理職の意図は見えますが、教員に画一的な価値や評価を求め、教員もそうしていますよとPRしているのと同じです。これが学校教育の現場で、多様な人間の成長を願う教員への評価の示しかたですか？

こんな学校だよりは、校長は教育

の中で誰を見つめ、何を目標としているかが問われている一番の問題です。それは子どもの成長でしょ！

2. 階層化よりも

教育目標に向けた全員の協力を

文科省は今までの学校教育体制は非効率的で硬直していると、「教育改革だ、教育再生だ」と繰り返し言い続けています。以前の学校体制は、校長 教頭 教諭という極めて均一な勤務給与体系でした。学年の体制がベテランの学年主任を中心に各担任が子どもの様子を報告しながら、対応をみんなで考えて、学校全体で共通理解のうえで行動していくのが当たり前です。時間が掛かるのは当然ですが、これが非効率的だというのが、私には理解できません。

そして企業の業績評価を入れて、学校を効率的な組織に変えていこうと言うのです。それが現在行われている業績評価・人事考課制度です。

平の教諭から始まり、主任・主幹・指導教諭など段階を上り、指導主事

や副校長・校長の管理職となるのが、現在の学校管理体制のしくみです。

3. きびしい

評価パーセントの押し付け

今の業績評価・人事考課制度が、学校現場を根本的に破壊しているのだと私は思えてなりません。

その一番の問題は、学校現場が上意下達の硬直した教員態勢となっていることです。ピラミッド状の教員の画一化がますます進んでいます。

校長による人事考課の結果が給与に反映し、職階により明確に給与差が出ています。校長・副校長はその業績評価の研修に行っていますが、人事考課のA・B・C・D評価はきびしく人数の%-が指示されていると言います。C評価は普通なのですよという校長、あなたは何を見ているのですか。A評価は数%で、よく研修に出かけ学校を留守にする先生に与えられるのではないですか。

この人事考課が導入されようとしたとき、その時の校長は「みんな頑張っているのだから全員にAをつけ

ますよ」と言っていたのがウソだったわけです。それほど都教委から校長もがんじがらめにされています。

4. 働き方改革 というなら無駄な業務の押し付けをまずやめること

教員の働き方改革とかいろいろ言われていますが、こんなに働いても残業手当もまったく出ず、教員の献身的な努力を当てにする勤務態勢がずっと続いています。

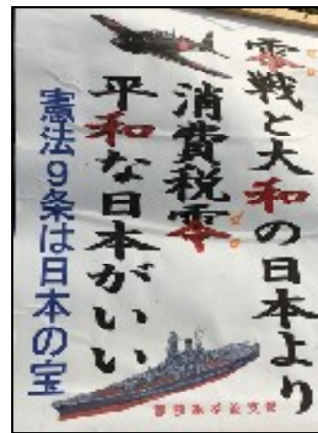
そんなに働いても仕事が終わらないのは、生身の人間・子どもを相手にしている仕事だからです。

校長の掲げる学校教育目標にどのように取り組むかなどは、些末なことではないかと私は思っていました。でも今それが教員の一番の仕事だとされているのと違いますか。子どもと関わらない研修やその報告書提出の時間は膨大になり、教師の本分である授業の教材研究に充てる時間が削られざるを得ないのです。

このままで授業改善できますか？ やうち かずひろ



「令和」をもちつて... 五月一日、この日始まった辺野古埋め立ての黒幕は安倍チコちゃんも叱ってる



「麻布米軍基地のヘリコプター」見てきました

以前、杉森中学校庭に不時着した、麻布と横田基地を毎日行き来する米軍ヘリ。いまはどうなっているのか、国立新美術館へでかけたついでに見てきました。ありました。いまだにこの都心の一等地を基地として使っているのです。

写真のように、この軍用ヘリと麻布六本木ヒルズが不思議な世界に見えています。

横田基地に配備されたオスプレーも、その後毎日のように基地周辺で離着陸訓練をしたり、三沢や東富士まで飛行しています。2月20日には西荻窪上空や石神井公園上空も飛行したようです。

オリンピックを控え、羽田着の航空機ルートが問題になっていますが、渋谷上空を低空で飛行しなければならない理由も横田基地の管制空域を避けるためです。



2019.3.28 撮影 T.Takagi

東京上空に日本の空でなくアメリカの空もあるということなのです。

それもこれも、安保条約とその体制のなせる禍です。1機116億円のF35を147機=1兆7千億円もの買い物をアメリカと約束した安倍政権。6月の参議院選挙で退陣に追い込みたいものです。

選挙に行かない人に、棄権は危険な行為なのだということをわかってもらいましょう。 たかぎたかし

2018年度 杉退教 さくら会 会計報告

現金会計の部			切手会計の部		
収入	繰越金	21,802	収入	切手繰越	24,966
	会費収入	6,450		切手会費	18,594
	合計	86,302		切手購入	2,000
支出	分担金	15,000		合計	45,560
	郵送代	8,400	支出	切手使用(郵送費)	27,936
	印刷代	8,979			
	切手購入	2,000			
	交通費	3,000			
	慶弔費	8,802			
	消耗品費	13,932			
	合計	60,113			
19年度への繰り越し 86,302 - 60,113 = 26,189			19年度への繰り越し(切手&はがき) 45,560 - 27,936 = 17,624		

会計監査報告 ・帳簿・領収書・現金の保管は正確に行われていました。
・切手・はがきの使用・保管も種別分類整理されていました。
2019年5月7日 監査 小杉澄子

下の4列の言葉を考えてください。これが回答です。

16	9	数	数	?	9	?	18	?	18
----	---	---	---	---	---	---	----	---	----

12	6	?	4	17	6	?	9
----	---	---	---	----	---	---	---

8	9	14	10	?	9	14
---	---	----	----	---	---	----

10	6	11	3	16	9	?	15
----	---	----	---	----	---	---	----

カタカナ文字の
数字

上下の空欄に同じ数字と対応するカタカナ文字を入れて言葉を考えます。

13		8		15		10	
?		9		5		11	
5		14		6		12	
11		1		17		13	
3		2		15		6	
1	2	3	4	5	6	7	4
	マ	モ	ロ	ウ	ケ	ン	ポ
11		4		6			

文字対応表

1	10
マ	
2	11
モ	
3	12
ロ	
4	13
ウ	
5	14
ケ	
6	15
ン	
7	16
ポ	
8	17
9	18

?の欄には右のリストの文字が入ります。

レタスメデカソバ

お暇なとき挑戦してみませんか。まず、表示されている文字の枠内番号と同じ番号の枠に同一の文字を入れます。たて、よこに二つの熟語を含む言葉を考えて入れてください。今月号のどこかにヒントの言葉があるかな？

*正解は次号に掲載いたします。

*杉退教の春のハイキングに同行くださった杉並区労連・元東電争議団の村石政弘さんが、4月1日付けの電力東京連絡会ニュースに載せた一文を紹介します。

ちよっと一息

春を探しに・南足柄運動公園へ



早咲きの桜は、この地の人の改良した「ハルメキ」という品種です。足もとにも野の花がいっぱい……。



杉並区退職教職員協議会（さくら会）の方々と、南足柄運動公園にハイキングに出かけました。区労連の事務所が都教組の事務所に在って10年ぐらいいご一緒に過ごした関係です。3月17日、小田急・新松田駅からバスで運動公園へ。そこは、酒匂川を越えた高台にあり、山々の眺望がよいところです。ピクニック広場や野球場、多目的運動場等があり、早咲きの桜が満開でした。お花見に最適

なところ。山肌には菜の花、園内には「ホトケノザ」や「オオイヌノフグリ」などの花が咲き、ピンク色の「アセビ」、白い「コブシ」も満開でした。帰りのバスを待っているときに農家のご主人がミカンをご馳走してくれました。気分よく渋沢駅へ。目指すは「いろは食堂」ですが、その前に落花生のお店「豆はな」に寄り、お土産を買いました。茹で落花生と普通の落花生を買い、試供に

出されたいろいろな豆とお茶で一息つきました。「いろは食堂」は、先生方の古い知り合いのようであさくでした。豪快な「鰻の刺身」「金目鯛の煮つけ」そして芽の出る前の真っ白な「筍」。その美味しさと「地酒」が決まっています。最後に、駅前の農協直売店で「のらぼう」などを買って帰りました。

村石 政弘

*次回のハイキングは、11月24日（日）多摩丘陵方面を予定しています。詳細は11月のたよりに掲載します。お楽しみに……。